

第672回福崎町教育委員会会議録

開催日時 令和7年2月21日（金） 13時30分～15時30分
開催場所 福崎町役場 3階 第2委員会室
出席委員 高橋 渉、桑谷祐頭、井奥智子、西村照明、鎌谷正子
事務局 学校教育課長 大塚謙一、社会教育課長 木ノ本雅佳

1、開会

2、第671回議事の報告を会議録により行い、承認されました。本会の署名委員として井奥委員・西村委員を指名しました。

3、教育長報告

(1) 園・小・中学校の様子

○こども園（1月9日～2月12日）

福崎幼児園では、園児がコロナ、マイコプラズマ、アデノウイルス、インフルエンザに罹患しました。応聖寺からの豆まきの鬼に園児は非常に怖がっていました。4歳児の親子で食育教室を実施しました。コミュニケーション力が弱い外国籍の園児に対する訪問支援事業を受け、保護者の日本語理解能力が低いことに起因することが分かったので、保護者への伝え方に配慮しています。八千種幼児園では、インフル、胃腸風邪、イチゴとミカンのアレルギーの園児がいるので留意しています。近所の方が「とんど」に参加してくださり、非常に盛り上がったという報告がありました。田原幼児園では、職員がコロナ、インフルに罹患し、園児もインフル、嘔吐、下痢等で欠席しました。季節柄、ノロウイルスへの感染に留意しています。生活発表会など、保護者が参加される日をできるだけ多く計画しています。また、寒くなってから氷のでき方に興味を持ちかけている園児がいます。高岡幼児園からは、給食センターの給食配送車の運転手が、園手前の坂道でのスリップを心配して、食缶を歩いて運んでくださる日があったとの報告を受けました。氷の様相がそれぞれ違うことに気づくなど、寒い高岡ならではの取組を行っています。子どもたちの感性を大事にしてほしいと思います。姫学こども園では、手足口病、流行性結膜炎、胃腸風邪、風邪症状での欠席がありました。インフル、コロナにも罹患しましたが、2月8日の生活発表会には完治が間に合い無事開催することができ、今年は、0歳児から2歳児、3歳児から5歳児の2回にわけて実施しました。1月11日の「とんど」には保護者も参加されました。2月1日のふるさと文化祭に5歳児が太鼓の発表で参加しました。サルビアこども園では、インフル、発熱、風邪症状の欠席があり、2月15日の生活発表会が無事開催できるか心配していました。「とんど」は地域の方や役員さんのおかげで大きなやぐらができたようです。

各園とも「とんど」の行事は非常に最近盛り上がっているという報告がありました。

幼児園・こども園の園長会で報告・確認があった事項として、①園への「爆破予告」の対処に戸惑うも、福崎警察署の見回りがありがたかったと報告がありました。なお、不審物がないか園内外を見回りましたが、職員には、危機感が薄かったように思われましたので、各園で今後十分な対応を取るように決議しました。②令和7年度の「春の遠足」の町バス利用予定日の調整を行いました。③令和7年度の「うさちゃんクラブ」の日程調整を行いました。④給食について意見交換を行い、震災時の非常食として備蓄されているパックの「救給カレー」は、味もよく、3歳児以上は自分で開封して食べることができ、適量であったとのことでした。また、土曜給食の提供者として、町外の業者と話し合いを進めていて、遅くとも3月の園長会

までに結論を出し、報告する予定です。

○学童保育園（1月・2月上旬）

東部学童保育園では、1月の利用者は、平均60～70名で半数が1年生でしたが、静かに生活できており、男女や学年を超えて仲よく生活できるようになっています。おやつタイムは、感染症対策で引き続き、黙食をしています。捻挫の怪我がありましたが、指導員の共通理解ができておらず、再度の徹底を図りました。帰りの園児の引渡しについて、兄弟ではなく、直接保護者にするように指示しています。施設面で、男子トイレのドアと玄関ドアの修繕、園庭のヒノキの枝の剪定を予定しています。西部学童保育園では、1月の利用者は、平均47名で半数が1年生で、4年生以上の利用者は少ないです。落ちついて生活しており、大きな怪我もありませんでした。3月21日の卒業式の日利用希望者は、現在26名です。来年度の利用に向けて、9名の保護者の見学がありました。西側水路の蓋の音、玄関天井にツバメの巣、配電盤の鍵等、対応を予定しています。4月8日の入学式の日、両方の学童保育園は、1年生のため、午前中から開設します。八千種学童保育園は、3月21日から開園します。

○小学校、中学校

福崎小学校では、ライングループ内で友達顔を加工してアップし、中傷する事案があり指導しました。前回は報告しましたが、2年生のクラスが落ちつかないため、引き続き多くの教職員で関わり、少しずつ良くなってきているという報告がありました。インフルは少ないですが、発熱など、毎日20名前後の欠席がありました。私立中学校や県立大附属中学校へ進学する児童がいます。高岡小学校では、子どもの座布団がなくなる事案に続いて、2人の上靴がなくなる事案がありました。全体とクラス内で指導していますが、上靴は出てきていません。校内書き初め展の参観者が例年に比べて多かったです。また、スクールサポートスタッフによる簡易な作業や軽微な修繕に非常に助けられているという報告がありました。田原小学校では、インフル、コロナに罹患する児童、怪我が4件ありました。木製アスレチックの修繕や屋外トイレ洋式化の改修が始まりました。また、登校班で歩くのが遅い1年生に対して、6年生がきつい言葉で対応したため注意しました。3学期に転入してきた児童は、みんなと仲よくできています。1月30日に実施したマラソン大会に関して、医師の許可はあるものの留意を要する児童がいました。なお、研究大会等の都合により、1月に実施したマラソン大会でしたが、「寒さ」もあり12月実施のほうが望ましいという校長の弁がありました。八千種小学校では、私立中学校へ進学する児童がいます。教員1名が体調不良で、3月末まで病気休暇を取得していますが、代替教員が入っています。また、男性職員1名が2月10日から3週間の育児休暇中で、代替措置のない30日以内ですので、管理職等で対応しています。福崎西中学校では、3学期になってから登校日数が増えた生徒がいます。日本語が理解しにくい生徒に対して、国語等はオリジナルの問題を作成するなどして対応しています。1月17日に「神谷で女子生徒6名がお菓子を食べながら座り込んでいて、通行に迷惑だ」という情報があり、すぐに現地へ出向き指導しております。生野学園中等部へ転出する生徒がいます。インフル、コロナ、マイコプラズマに罹患する生徒はいませんが、大事には至っていません。体育の授業と部活動で、怪我が4件ありました。福崎東中学校では、女子バレー部が1月18、19日に実施された西播地区バレー大会で3位になり、県大会へ出場します。2年生男子3名がふざけていて、窓ガラスを割りました。1月11日「犬を連れて鎌をもった大人に追いかけられた」という事案があり警察へ情報提供と巡回の強化を依頼しました。1月9日、生徒が突然倒れて意識がなくなり救急車を要請しましたが、異常はありませんでした。インフル、コロナの罹患がありました。2階西玄関の扉のガラスが突風で開いた衝撃で割れ、修理しました。風の強い日は閉めるようにしています。郡市区対抗駅伝大会で、神崎郡の代表として、3区で藤本菜摘さんが出場しました。

いずれの学校も保護者連絡アプリ「キュベル」の導入により、朝の欠席電話がほとんどなくなり、ゆとりを持って子どもたちを迎えられるという報告がありました。それまで使っていた「安心安全メール」は地域のため、「キュベル」は保護者のためとして使い分ける必要があります、学校の実態により保護者の意識や利用面での差がありますので、対応は各校に任せたいと考えています。

(2) 確認・報告事項

「登校渋り」の子どもの本当の悩みや心に秘めた「思い」を理解しようとせず、ただ「登校しなさい」「登校しないと〇〇するぞ」という保護者に対して、気持ちを分かって欲しいための行動と思われる事案が数件続いています。保護者の責任だけではなく、今後、益々教師と保護者の連携、不登校傾向の我が子に対する親子関係の在り方や子どもとの接し方についての保護者への啓発や研修が、子どものために必要と認識しています。

(3) 検討・協議事項

令和7年度福崎町教育の努力目標（案）については、協議事項で議題にあげます。

(4) 3月の予定

資料に基づき報告しました。

次回の教育委員会は、3月19日（水）午後1時30分から、役場第2委員会室で開催します。

(桑谷委員) 不登校の児童生徒について、以前から報告を受けていますが、福崎町では加配の教員や町の支援員がいるにも関わらず、なかなか改善されず、増える傾向にあるようですが、他の大きい市では、どのような対応をされているのでしょうか。

(高橋教育長) 隣の市では、毎年過去最多を更新していますし、郡内の2町も当町と同じような状況です。全国や県の割合に比べると、福崎町は低い方です。7年度の不登校の対策としては、不登校支援員を1名増員し、4名の支援員で各校にある校内サポートルームでの不登校傾向の児童生徒の学習面や生活面の対応等をし、学校やクラスとの連携強化を図ります。また、サルビア会館では、校外サポートルーム「のぞみ学級」を開設する等、個に応じた種々の対応を継続します。不登校対策の取り組みは、当町だけの問題ではなく、いずれの自治体でも試行錯誤で取り組んでいるのが現状で、その児童生徒に応じた指導・対応を地道にしていくしか方法はないと思っています。

(桑谷委員) 子どもの人口が減っているにもかかわらず、不登校児が増えていると言うことは、それぞれ余程の事情があることと思います。先生方も電話連絡や家庭訪問したりして尽力され、なかなか先の見えないことによく頑張っておられると思います。

(高橋教育長) 子どもが不登校傾向になり始めたときに、気持ちを十分に聞いてやれない保護者がおられます。やはり子どもの気持ちや状況をわかろうとすることが大切だと私は思っています。

4、協議事項

(1) 令和7年度「福崎町教育の努力目標」について、資料に基づき説明しました。

スローガンは、子どもも大人も高齢者も全ての人々が自分の将来や地域、社会の未来のことを考えることができる教育が必要になってくると思いますので、「「在りたい未来」を創造する」という言葉に変えました。また、仲間づくりということで、「絆を深め」とし、全ての人に夢や希望を与えられる社会教育に努めなければならないということで、「志」を育む」としました。

努力目標1番、就学前保育・教育の充実については、1) 生命の維持と情緒の安定

に努める、2) 個性を尊重した道徳性・規範意識を育てる、3) 策定するだけでは意味がないので「福崎町第3期子ども・子育て支援事業計画」を推進する、4) 小中学校と同様に各種団体や地域の人たちと連携した保育・教育に努める、と替えました。

2番、学校教育の充実については、2) ①人格の完成をめざし、「こういう自分になりたい」を描ける力の育成に努める、②教育実践においては流行ばかりではなく「不易」の重要性を伝える、3) ①イ) 学力保障の上でのタブレットの活用を工夫、ウ) 子どもや親の希望や期待に応えられるよう効果的な通級指導にしたいと考えております。4) 特別支援教育の①発達障害に対する理解、配慮、支援、対応を積極的に行うとし、しっかり研修していきたいと考えています。5) 人間的な触れ合いによる生徒指導として、①に学校長のリーダーシップが大事であるので1番に挙げました。③のいじめ未然防止は「特別教科道徳」を要として、形だけではない教育相談、⑥不登校指導は、個々の児童生徒の状況を適切に把握し、個々に応じた多様な教育的配慮により家庭や関係機関と連携し、スモールステップで支援していきたいと考えています。⑨いろいろ校則を変えましたので、その検証に取り組む必要があると考えています。7) 人権教育については、1番に「現実に学ぶ」姿勢の人権教育を取り上げました。②にあらゆる他者、障害のある人、高齢者、外国の人を価値ある存在として尊重できる教育に努める、③引き続き、ヤングケアラー、児童虐待の早期発見・対応に努める、⑥今日的な課題解決に主体的に取り組むとしました。8) 食教育として、④園児・児童・生徒の要望に留意しながら、おいしい給食の提供に努めたいと考えており、パン給食の日が1日増える取組もこの一環と考えています。10) 業務改善については、管理職のリーダーシップが大きく影響しますので、管理職と主幹教諭を中心として、1番に上げました。②は、本来のねらいに基づいた「業務改善」とし、子どもと向き合う時間を増やして欲しいと考えています。

4番、社会教育・地域の教育力としては、1) 学校部活動の地域連携の協議会を立ち上げて方向性を確立しなければならないと考えております。2) はコミュニティースクールを導入する第1歩として、指定校として高岡小学校で検証してまいります。計画を策定し、その課題があれば町内6校で共通理解しながら、令和8年度から順次他校でも導入していきたいと考えています。

5番、社会教育・生涯学習では、郷土への愛着と誇りを持つ児童生徒を育成するためにも、地域の先人の思いや有形・無形文化財を大切にし、地域を愛する児童生徒の育成に努めたいと考えています。地域の有形無形の文化財に関心がない子ども、知らない子どもが多いと思いますので、関心を持つような取り組みをしていきたいと考えています。また、一人でも多くの方に図書館を利用してもらう取り組みを工夫したいと考えています。4) の①柳田國男先生生誕150年の周年行事を行うに当たり、広く発信して啓発と顕彰に努めます。5) スポーツ・レクリエーション活動として、⑤青少年野外活動センターの環境整備を進め、誰もが快適に利用できる施設になるよう修繕や改修するとともに、全ての利用者にそのような思いを持ってもらいたいと思います。6) 公民館活動の①文化協会と公民館クラブは、令和7年度から発展的統合をして福崎町文化協会となりますので、そのあり方を検証する必要があると考えています。⑦3月中に出る耐震診断の結果により、対応策を考える必要がありますので、安心安全で快適な施設の在り方を検討する、という項目を入れました。7) 人権に関する学習として、②性の多様性、発達障害、SNSによる人権侵害等、今日的課題に対する人権意識醸成のための自治会研修を継続したいと考えています。④手話言語条例が策定されましたので、福祉課と連携して、それに基づいた人権学習にも取り組まなければならないと思います。

6番目の教育委員会制度については、定例の教育委員会をより効果的に運営するための工夫が必要という思いでいます。また、すべての子ども・職員・教職員が元気に活動できる教育環境づくりに努める、と改正しています。

令和6年度との変更点のみ報告し、3月の教育委員会で協議することとしました。

5、報告事項

〈学校教育課〉

(1) 令和7年度認定こども園等入園申込状況について

資料に基づき、令和7年1月31日現在の状況を報告しました。0歳児は申込者31人に対し30人受入決定、1人が保留となっていますが、この方は現在求職活動中で特定の園を希望されています。1歳児から5歳児は申込者全員を受け入れます。町外の施設を希望される委託児は21人で18人の受入先が決定、3人が保留となっていますが、その後全員の受入先が決定しています。

(2) 私立高校入試等の結果について

資料に基づき、令和7年2月14日現在の状況を報告しました。令和6年度の中学3年生は、東中が108名、西中が71名の計179名です。県内私立高校の入試は2月10日月曜日に行われ、東中96名、西中66名、合計162名が受験しました。県外私立高校については東中4名が受験、通信課程等に東中6名、西中1名が受験し、ここまでの私立高校関係につきましては、全員が合格しました。また、特別支援学校に進学予定の生徒は2名です。推薦・特色選抜では、東中は28名、西中では21名が受検しています。

(桑谷委員) 播磨福崎高等学校の開校はいつですか。

(大塚課長) 来年度から開校で、この度の受検生から入学します。一方、夢前高等学校の入学試験はなく、来年度は2年生と3年生になります。

(3) 建設工事等の進捗状況について

資料に基づき報告しました。進捗率は令和7年2月14日現在です。

田原小学校の運動場のトイレを洋式化するための田原小学校屋外トイレ改修工事の進捗率は40%です。八千種小学校の周囲に門扉やフェンス等を設置することで不審者侵入を未然に防ぎ学校の安全を確保するための八千種小学校周囲フェンス等設置工事の進捗率は20%です。福崎東中学校の東側と西側にある階段部分にある窓枠から雨が浸水しているため、窓枠のシーリングを打ち換えて改善する福崎東中学校建具雨漏れ修繕工事の進捗率は30%です。

(桑谷委員) トイレの洋式化を進めておられますが、荒っぽい使い方をして壊れたことはないのですか。

(大塚課長) 福崎小学校北校舎が洋式化の最初になりますが、使い方に起因するような故障の報告はありません。

(4) その他

辞令交付式、教職員集会について、資料に基づき報告しました。

〈社会教育課〉

(1) 文化功績賞について

資料に基づき報告しました。1月29日に審査委員会を開催し、令和6年度の受賞者を選考、13名の個人と1団体の受賞が決まりました。

(2) スポーツ功績賞について

資料に基づき報告しました。2月6日に審査委員会を開催し、令和6年度の受賞者を選考、12名の個人と1団体の受賞が決まりました。

(3) 建設工事等の進捗状況について

資料に基づき報告しました。進捗率は2月14日現在です。

図書館高圧受電設備改修工事は、図書館の休館日に合わせ切替工事を3月10日と17日に実施する予定で、進捗率は35%です。文化センター耐震診断業務委託は現地採取した試料の分析と調査結果の取りまとめを進めており、進捗率は90%です。青少年野外活動センター擬木柵設置工事の進捗率は100%で、1月20日に南側法面設置の階段と手すりの更新工事を追加する45万5400円の変更契約を締結し、1月31日に工事が完了しています。スポーツ公園ソフトボール場夜間照明改修工事は、現地確認等を経て、進捗率は15%です。

(4) 今後の予定について

資料に基づき報告しました。

6、閉会

以 上

署名委員 井 奥 智 子

署名委員 西 村 照 明